

平成22年 月 日

国土交通省中国運輸局長 殿

申請者名 井原市公共交通会議
代表者名 会長 田中 基

平成22年度 地域公共交通総合連携計画策定調査実施計画
認定申請書

地域公共交通総合連携計画策定調査実施計画の認定を下記のとおり申請します。

記

申請者	申請者名：井原市公共交通会議
	代表者名：会長 田中 基
	構成員：別紙のとおり
連絡先(事務局等)	所在地(都道府県名も記載): 〒715-8601 岡山県井原市井原町 311-1 岡山県井原市
	担当者名：総務部 企画課 梶谷 貴政 " " 馬越 敏晴
	TEL：(0866) 62 - 9504
	FAX：(0866) 62 - 1744
	E-mail：takamasa_kajitani@city.ibara.okayama.jp

1. 当該地域の公共交通の概況・問題点

【本市の概要】

本市は、平成 17 年 3 月 1 日に、生活・経済・交通圏で密接な結びつきのあった、井原市、後月郡芳井町及び小田郡美星町の 1 市 2 町が合併し、現在の井原市が誕生した。

地理的には、岡山県西南部に位置し、市域面積は 243.36 k m²、その約 50%が山林となっている。

また、市南部には、県下三大河川である高梁川の支流小田川が東西に貫流し、その流域に市街地が形成されており、市北部は標高 200～400mの丘陵地帯となっている。

【公共交通の概要】

本市の公共交通体系は、バスと鉄道井原線によって構成されている。

バスについては、民間の 3 社が運行する幹線バスのほか、支線部分を補完するため、井原地区では公共施設や観光施設を結ぶ循環バス、芳井・美星地区ではスクールバスを兼ねた循環バスを運行している。鉄道については、総社市と広島県福山市を結ぶ鉄道井原線が市の南部を東西に走り、東は JR 伯備線及び吉備線に接続し、西は神辺駅から JR 福塩線に接続している。

また、福祉面からの支援として、福祉基金によるバス、タクシーの料金助成や、美星地区において、NPO による福祉有償運送を支援している。

【これまでの対策】

市内循環バスについては、合併を期に新市の一体感を醸成するため、芳井・美星地区へ拡大している。また、利便性の向上を図るため、これまでも利用状況の把握に努めるとともに、ダイヤ改正や運行経路の見直しを実施してきた。

【問題点】

一方で、「公共交通空白地」が市内に点在しており、その解消が本市にとって喫緊の課題となっている。また、現行のバスを中心とした現行の公共交通体系についても、厳しさを増す財政状況に鑑み、効率的なサービス提供を図る必要があることから、そのあり方を再度検討する必要があるが生じている。

2. 地域公共交通総合連携計画策定調査の必要性

本市における公共交通は、これまで、バス事業者や行政が主体となって担ってきた。

しかし、マイカーの普及に伴う利用者の減少に加え、近年の少子化に伴う利用者の減少など、公共交通を取り巻く環境はさらに変化してきている。

一方、本市の財政状況は厳しさを増しており、行政サービスの提供に当たっては、利便性や費用対効果の高い良質なサービス提供が求められている。

さらには、環境への配慮、高齢者の交通事故防止といった安全・安心の観点、地域協働の観点からも公共交通のあり方や担い手を見直し、持続可能な交通体系を構築する必要があるが生じている。

そのため、既存の公共交通体系と、公共交通空白地の解消に向けて新たに導入する移動手段について、利用実績や住民ニーズ等を詳細に調査・分析するとともに、それらの結果を基とした、これからの本市における最適な公共交通体系の構築に向けた基本方針や取組を策定する必要がある。

これらのことから、本市のみならず、地域における関係者の合意の基で取り組む地域公共交通総合連携計画策定調査の早急な実施が不可欠である。

3 . 調査の内容	
調査の名称	調査の内容
現況交通利用実態調査	既存の公共交通（路線バス、市内循環バス）の利用実態について、乗降調査等の必要な調査を実施し、現況分析を行う。
公共交通利用者ニーズ把握・アンケート調査	公共交通利用者へのアンケート調査等によるニーズ把握を行う。 ●利用者へのアンケート調査 ●一般市民へのアンケート調査 ●主要施設（公共施設、医療施設、商業施設）利用者ヒアリング
地域公共交通総合連携計画策定	現況交通利用実態調査、公共交通利用者ニーズ把握・アンケート調査の結果に基づき、公共交通における基本的な方針、効率化、空白地での移動手手段の確保、利用促進等について検討を行うことで、最適な公共交通体系の構築に資する計画を策定する。

4 . スケジュール	
以下項目別に概ねの着手・実施期間を矢印（ ），または横棒線（ ）で記載。	
調査の名称	7月 9月 12月 3月
現況交通利用実態調査	←————→
公共交通利用者ニーズ把握・アンケート調査	←————→
地域公共交通総合連携計画策定	←————→

5 . 予算計画			
調査の名称	総事業費 (見込み)	国費 (見込み)	地域の負担 (見込み)
現況交通利用実態調査	777 千円	777 千円	0 千円
公共交通利用者ニーズ把握・アンケート調査	2,238 千円	2,238 千円	0 千円
地域公共交通総合連携計画策定	3,466 千円	3,466 千円	0 千円
会議費	1,604 千円	1,604 千円	0 千円
事務費	0 千円	0 千円	0 千円
予備費	0 千円	0 千円	0 千円
小計	8,085 千円	8,085 千円	0 千円

(別紙)

役名	委員氏名	区分	所属
会長	田中 基	作成市町村	井原市総務部
	佐藤 文則	作成市町村	井原市教育委員会
	藤原 秀敏	交通事業者	井笠鉄道(株)
副会長	仁科 隆	交通事業者	北振バス(株)
	赤城 恵治	交通事業者	備北バス(株)
	大室 秀明	交通事業者	タクシー事業者 (一丸タクシー(株))
	三浦 一男	交通事業者	井原鉄道(株)
	佐藤 須賀則	利用者	井原地区(商工会議所)
	塩出 照子	利用者	井原地区(老人クラブ)
	吉澤 万千子	利用者	井原地区(福祉有償運送関係)
	宮島 賢	利用者	芳井地区
	松本 綱夫	利用者	芳井地区
	山本 好子	利用者	芳井地区
	菊池 和孝	利用者	美星地区
	弓取 佑輔	利用者	美星地区
	鳥越 睦子	利用者	美星地区
	藤田 敏夫	利用者	身体障害者福祉連合会
	片山 充	その他	井笠鉄道労働組合